

すでに柿のシーズンは終わり、干し柿のシーズンになりました。教会でとてもおいしい干し柿をいただきました。



柿通の私からいわせれば、今までの生涯でこんなにおいしい干し柿を食べたことはありません。形といい、柔らかさといい、最高です。

これを作ってくださった教会の鈴木リチャードさんはご自分は干し柿が嫌いで召し上がらないそうです。徹底的に「受けるより与えることのほうがさいわいである」を実践してらっしゃるわけです。

彼は今年私達の教会で受洗された 92 歳の兄弟ですが、目があまりよく見えません。





それなのに今年は1,000個あまりの干し柿制作をなさいました。教会のみなさんに分けるためです。息子さんがサンタバーバラの柿の木のある知人宅に3回連れて行ってくれたそうです。



でも皮を剥いて干す作業は彼一人でなされたようです。ぜひその現場がみたくてお宅を見せていただきました。







気が遠くなるような作業です。



これがつるすのに使う紐です。



だからこそ、この干し柿は彼の愛の塊がおいしさになっているのだとわかりました。リチャードさんはどんなに多くの時間を使ったことでしょう。「愛とは時間をかけること」の言葉が響きます。



竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00)

メール oriochurch@outlook.jp